



第95号

レッツスポーツ!!

Let's Sports!!

平成23年3月1日
発行
財団法人 稚内市体育協会
会長 門間松美
〒097-0027 稚内市富士見4丁目
稚内市総合体育館内
(財)稚内市体育協会事務局
TEL28-1111/FAX28-1112
E-mail:taikyo@wakkanai-sports.or.jp
URL http://www.wakkanai-sports.or.jp

カリキュラムの充実と 利用者サービスの向上を図ります 少年自然の家の指定管理

稚内市 少年自然の家は、昭和55年に自然環境の中で行う集団宿泊訓練、野外活動、自然観察、その他の活動を通じて、少年の健全な育成を図る目的で建設されていま



す。 翌56年には、総合体育館が建設されたことから、本来の目的に加えて、各種スポーツ大会参加者の宿泊施設としての利用のほか、近年では稚内市のテコ入れの基に、体育協会と市内の経済団体で構成する「稚内市スポーツ合宿誘致推進協議会」が進める高校、大学のスポーツ合宿の拠点として利用形態が拡大しています。近年各自自治体では、公共施設の管理運営に、民間の活力導入とコスト軽減を図る目的で、指定管理者制度を実施していますが、平成23年度からは同家が対象となり公募がなされました。体育協会としては、事務局所在の総合体育館と同家の立地条件やスポーツ関連

事業や利用の形態を踏まえ管理・運営を考慮しつつ指定管理者に応募しました。現在、稚内市との協定も結ばれ、事業の引継ぎ等を進めておりますが、同家事業の主旨や役割をしっかりと継承するとともに、体育協会の保有するノウハウを同家のカリキュラムに反映させるほか、隣接する両施設の魅力を最大限に活用した運営・管理を行ってまいります。

四月一日から 「一般財団法人稚内市体育協会」 に変わります



【ご挨拶】

(財)稚内市体育協会
会長 門間松美

平成20年から5年間で「公益」か「一般」のいずれかへの移行が義務付けられた、「公益法人制度改革」に基づき、慎重に検討してまいりましたが、「一般財団法人」に進むこととして、手続きを進めておりましたところ、申請の窓口となる北海道(総務部)から、認可手続きが完了した旨の連絡がありました。従って、昭和34年に創立された稚内市体育協会が、同59年に「財団法人」となり、さらに平成23年4月1日からは「一般財団法人稚内市体育協会」として再出発いたします。

今後とも、時代のニーズに応える歴史を築きながら、稚内市のスポーツ振興・発展に寄与してまいりますので絶大なるご支援とご協力をお願いいたします。

高の里わっかない

【予定】

- 札幌大学
バスケットボール部(男子)
3月18日(金)から24日(木)まで
6泊7日
佐久本智コーチほか30人
宿泊：少年自然の家ほか
会場：総合体育館他
- 地元中高生対象の講習会
日時 3月20日(日)
午前9：30から12：00
会場 緑体育館
(アリーナ)

- 受講料 無料
- 北海学園大学卓球部男女
3月23日(水)から28日(月)まで
5泊6日
本吉敏総監督ほか22人
宿泊：少年自然の家ほか
会場：総合体育館
- 地元中高生対象の講習会
日時 3月27日(日)
午前9：30から12：00
会場 総合体育館
(二階体育室)
- 受講料 無料

スポーツ少年団だより

金メダルへの道のり 女子ソフトボールの上野選手

少年団・学校交流懇談会

スポーツ少年団を取り巻く環境整備の一環として毎年開催しているスポーツ少年団・学校交流懇談会は、1月29日(土)稚内全日空ホテルに、少年団指導者をはじめ、団員の父母、小中高校教職員のほか行政関係者などおよそ130人が集い行われました。

前半の研究協議では、小学校教諭から子ども会をベースにした地域スポーツと教員のかかわりが述べられたほか、指導者の競技力向上に対する思いや育成会の活動などがそれぞれの立場から発表されています。

後半は、アテネ、北京オリンピックや、連続3回のアジア大会女子ソフトボール日本代表として、大活躍の現役エースピッチャー上野由岐子さんから、「金メダルへの道のり」と題する講話があり、スポーツ少年団で活躍した子ども時代から、世界一に至った努力の過程や、出会った多くの指導者に対する感謝の思いなどが熱く語られました。



目標に向かいあきらめないで スポーツ指導者研修会兼トレーニングセミナー

スポーツ指導者研修会兼トレーニングセミナー

公認スポーツ指導員をはじめ市内中高のクラブ活動顧問を対象に開催する研修会は、今年度は前日の「スポーツ少年団・学校交流懇談会」に招聘した、上野由岐子さんを講師に依頼して、1月30日(日)に総合体育館を会場に開催されました。この研修会は、トレーニングセミナーも兼ねて行われたことから、市内各高校クラブ員をモデルにした講義や実技が行われ、現役の世界的トッププレイヤーが日常行っている厳しいトレーニングなどが紹介されるなど、参加者にとっては充実した研修およびセミナーとなりました。

さらに、最後にはこの事業にアシスタントを務めた、アテネ五輪女子ソフトボール日本代表の岩淵選手とのキャッチボールでは、さすが世界一のスピードボールを披露してくれました。

